

# 「第7回 ケニア大統領再選挙に向けた ナイロビ邦人安全対策連絡協議会」

日時 平成29年10月2日(月) 15:00～16:00  
会場 在ケニア日本国大使館・大会議室

## 【次第】

1. 開会のあいさつ
2. 大統領再選挙に向けた情勢
3. 治安情勢・安全対策
4. 質疑応答

～ケニア日本人会・在ケニア日本国大使館 共催～

# 大統領再選挙に向けた情勢

## 1 独立選挙委員会 (IEBC)

9月22日、野党NASA宛の書簡にて、再選挙で以下の措置を執ることを表明。

- (1) 投票所における管理官の一部入れ替えを行う(NASAが名指しで求めている人員の入れ替えには触れず)。
- (2) 40,883投票所における結果報告書(「34A」)及び34Aを集積した290選挙区における結果報告書(「34B」)を一般公開する(8月8日の選挙では計画に反し行われなかった)。
- (3) 再選挙において、票の集計及び結果の伝達を含むプロセスをメディア及び監視団に公開する。
- (4) 34Aもしくは34Bを添付せずに結果の電子送信が行えないよう電子システムを再設定(8月8日の選挙では計画に反し行われなかった)。
- (5) 委員長による結果発表前に34Aと34Bを照合する。
- (6) 委員長は、最終結果発表に際して290選挙区における結果を発表する(8月11日の結果発表では、47郡の結果を読み上げた)。

## 2 与党JUBILEE

再選挙までに、以下の内容を含む選挙法改正案を国会で通す方針(NASAは反対)。

- (1) 34A及び34B原本に記載されている結果を電子送信された結果よりも優先する。
- (2) 34A及び34Bが全て揃わない限り、IEBC委員長は結果発表を行えない。
- (3) 最高裁に異議申し立てが行われた場合、最高裁は投票用紙の数え直しを命じる。
- (4) IEBCによる選挙におけるミスが、選挙結果に影響を与えていないようであれば、最高裁は選挙を無効化出来ない。

## 3 野党NASA

以下の変更を求めて、毎週月曜日及び金曜日にIEBC前にてデモを行い、変更がなされない場合には再選挙をボイコットする方針。

- (1) IEBC内の人事の刷新
- (2) 投票者人定事項照合及び結果の電子送信を担う電子機器(KIEMS)を提供する会社(OT-Morpho / Safran社)の変更
- (3) 投票用紙、34A及び34Bの印刷会社(AI Ghurair社)の変更
- (4) 選挙結果の電子送信用のSIM提供会社(Safaricom社)の変更

# 治安情勢・安全対策

## 1. 最近の治安情勢

### (1) 野党サポーターによる抗議活動

#### ア IEBCに対する抗議デモ

9月26日、野党サポーターが、IEBC本部(ナイロビCBD地区)への抗議デモを実施。同デモは、西部(キスム郡、カカメガ郡)や沿岸部(モンバサ郡)でも実施され、一部が暴徒化した。

#### イ 野党選出国会議員の釈放を求めたデモ

9月28日、野党選出国会議員Babu Owinoの釈放を求め、ナイロビ大学の学生等がデモを行い、一部が暴徒化した。

### (2) 与党サポーターによる混乱

9月24日、25日、上記議員の逮捕を求め、ナイロビ北部及び中部キアンブ郡で暴動が発生した。

## 2. 今後の治安情勢

### (1) 野党サポーターによるIEBCに対する抗議活動

野党は、10月2日から、毎週月曜日と金曜日に、ケニア全土においてIEBCに対する抗議活動を予定。

### (2) 治安悪化が予想される時期、地域(資料1、資料2のとおり)

### (3) 今後の見通し

野党サポーターと警官隊による衝突、与野党サポーターによる暴力的な衝突が増加するおそれがある

## 3. 当館からの情報提供

引き続き、領事メール、緊急SMS等で、最新の治安情報を在留邦人に提供予定。

## 4. 現在の在留邦人の行動基準

レベル1: 十分注意

対応: 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

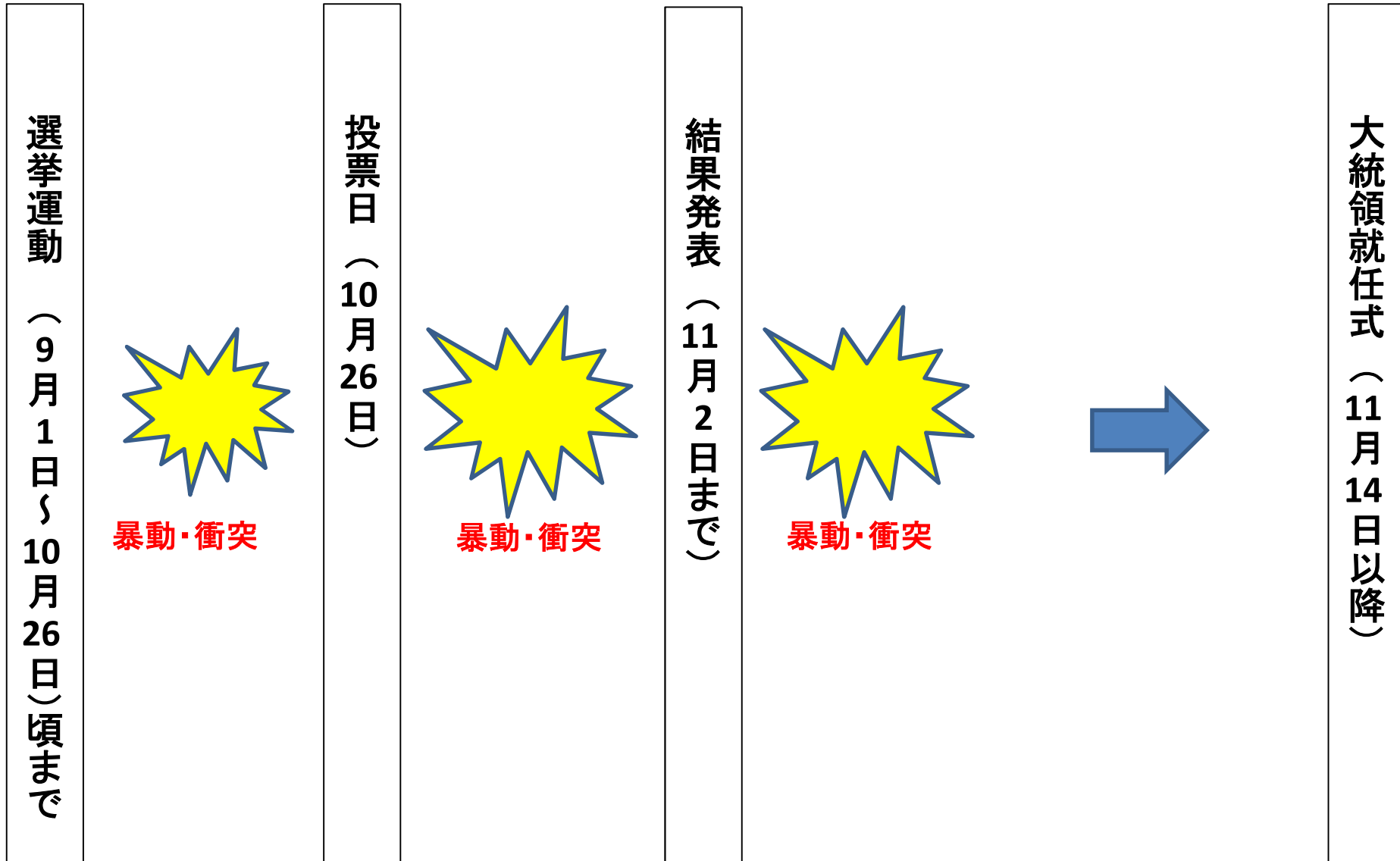
お願い: 備蓄の補充、有事に備えた緊急事態時の持ち出し携行品の確認。

## 5. 今後の予定

「第8回ナイロビ邦人安全対策連絡協議会(8代表者出席)」の開催

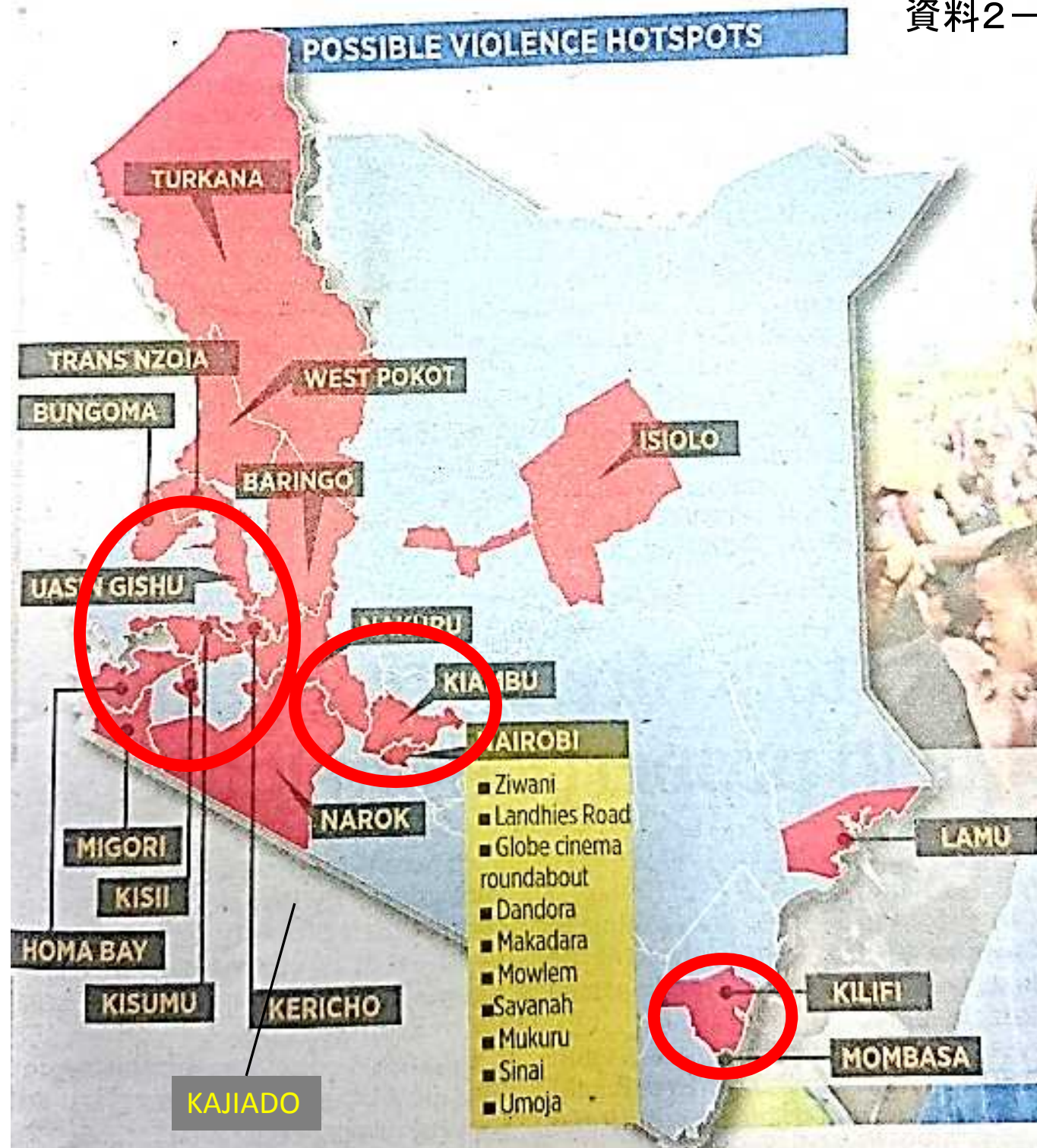
10月16日(月)午後3時～午後4時、当館大会議室での開催を予定。

# 治安悪化が予想される時期



# 警戒を要する地域

ケニア全土  
10月2日現在





# 警戒を要する地域(10月2日ナイロビ)

